

事業評価票（情報システム関係予算）

15	都営住宅工事内訳書システム（都市整備局総務部）	運用開始	平成 13 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> 都営住宅工事に当たって、起工時の工事内訳書の作成、工事単価の作成等、工事に係る業務を支援するシステムである。 		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 現在使用しているシステムは導入から15年が経過しており、操作性等の機能向上を図っていく必要がある。 システム導入当初に想定できなかった作業が発生しており、職員の作業効率向上が課題となっている。 現行システムにおけるサーバのリース期間が、平成29年7月末で終了となる。 		
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> 事務の効率化を図るため、システムを再構築し、操作性向上を図るとともに、現行システムで対応していない計算機能等を付加していくための経費を計上する。 その他、システム運用に係る所要の経費を計上する。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度見積額	
		80 百万円	
		28年度予算額	
	17 百万円		
情報通信企画部 評価	<ul style="list-style-type: none"> 事務の効率化に資するものとして、システムを再構築する必要性が認められるとともに、経費については、操作性向上や新たな計算機能の付加などを含め、再構築に必要な作業工数に基づき積算されており、妥当である。 運用経費については、継続的な経費として運用実績に基づき積算されており、妥当である。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度所要額	
		80 百万円	
		29年度予算額	
	80 百万円		
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 上記評価に同じ。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度予算額	
		80 百万円	
		29年度予算額	
	80 百万円		
16	地球温暖化対策に係る情報システム基盤（環境局地球環境エネルギー部）	運用開始	平成 26 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境エネルギー部所管の各種制度の運営を支援するシステムである。 環境確保条例に基づく温室効果ガス排出量総量削減義務と排出量取引制度の各種報告書管理（総量削減と排出量取引システム（以下「C&Tシステム」））等を行っている。 		
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境エネルギー部所管の各システムの基盤を統合・共通化し、一体的かつ効率的に運営する共通基盤へ、平成27年度より順次移行した。 各業務システムが支援する各種制度を安全かつ確実に運営するために一層のセキュリティ対策の強化が求められている。 C&Tシステム等、業務効率化に向けたシステム機能の改修が必要である。 		
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> 情報システム基盤の安定稼働のため、基盤環境の維持管理及び各業務システムのアプリケーション保守を行うための経費を計上する。 セキュリティ対策強化のため、セキュリティ診断受診経費を計上する。 地球温暖化対策報告書システム及びC&Tシステムについて、業務の効率化に向けた機能改善経費を計上する。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度見積額	
		126 百万円	
		28年度予算額	
	131 百万円		
情報通信企画部 評価	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理等に係る経費については、運用実績を踏まえて積算されており、妥当である。 セキュリティ診断受診経費については、セキュリティ対策強化に資するものであり必要性が認められ、診断内容に応じた作業工数に基づき積算されており、妥当である。 機能改善経費については、費用対効果の観点から見直しを要する。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度所要額	
		119 百万円	
		29年度予算額	
	119 百万円		
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 上記評価に同じ。 	拡大 充実	見直し 再構築
		移管 終了	その他
		29年度予算額	
		119 百万円	
		29年度予算額	
	119 百万円		